

Title: 「一生で一度のワーブ」



鈴木 里実  
1987年東京生まれ。  
女だらけの中で生きてきました。  
甘えまくって生きてきました。  
半年ワーブしてきます。  
大人になって帰ってきます。

## ● 最近のエントリー

- ☑ [第8ヶ国目-NEPAL-](#)  
(2008.06.30)
- ☑ [怒濤の一週間だったわけで](#)  
(2008.06.20)
- ☑ [明日、コルカタに発ちます。](#)  
(2008.06.13)
- ☑ [See you again.](#)  
(2008.06.11)

## ● アーカイブ

- ☑ [2009年02月](#)
- ☑ [2008年12月](#)
- ☑ [2008年11月](#)
- ☑ [2008年10月](#)
- ☑ [2008年09月](#)
- ☑ [2008年08月](#)
- ☑ [2008年07月](#)
- ☑ [2008年06月](#)
- ☑ [2008年05月](#)
- ☑ [2008年04月](#)
- ☑ [2008年03月](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

一生で一度のワーブ &gt; 2008年06月 アーカイブ

08.06.30

## 第8ヶ国目-NEPAL-

[Tweet](#)[Check](#)

～\* \* 来ました、ネパール \* \*～

今回行く国の中で、最も未知で最も楽しみにしていたネパール。私はこの国で、富田・大佐・奥と4人で写真展をやる予定でいます。カトマンズからバスで2時間の静かな田舎町・バナウティというところで。1年前に歩き方で見つけた時からずっと行きたかった町。楽しみすぎて、実感なくて変な感じです。

～海がないこの国で海の写真展をする～

99%のネパール人は海外へ行った経験がないと聞きました。私達の写真展によって一人でも多くの人の「世界」が広がりそれが少しでも社会貢献になれば...「海」を知ってもらおう。それが私たちの目的です。リーダー兼ネゴシエーターの富田、ライターの大佐、デザインの奥、プレスの私。日本にいる間はそれぞれが自分の役割に集中し、準備してきました。ネパール大使館に行って情報を集めたり、ネパール料理屋さんでミーティングをしたり、在日ネパール人に言葉を教わったり、バナウティに行ったことがある人に電話して色々聞いたり。

写真は出来る限りクオリティの高いものを、ただしこだわりすぎず、適材適所に。チラシやポスターはもらいたくなるようなデザインとサイズで。(本日カラーへ変更) <詳しくは奥のブログ、3月の「ブログはじめました。」&「昨日晴天」&「みなとみらいの夜」で>

そうやって準備を進めてきたものが点と点を結ぶように、少しずつ「写真展」に向かう。何かの完成に向かってみんなで創りあげていく作業、そういうのが私は本当に大好きです。



▲荷物の受け取りがちゃんと出来るようにインドからネパールへスカイプ中。カトマンズ指定泊にて、無事に受け取りました。愛さん、本当にありがとうございました！！今日は富田が旅行会社を介して車を予約。奥がさらに素敵なポスターとチラシに仕上げてください。私と大佐は必要なものの買い出しに行ってきました。現地での準備は思いのほか煩雑です。まあ、ここから先が問題ですが...

明日の14時にバナウティへ出発です。

カテゴリ:

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

一生で一度のワーブ &gt; 2008年06月 アーカイブ

08.06.20

## 怒濤の一週間だったわけで

[Tweet](#)[Check](#)

チェンナイ最後の夜。  
なんか眠れない。  
1時間...2時間...  
すると真暗だったはずの部屋がだんだんオレンジ色になっていく。  
「夢??」  
不規則に揺れる影。  
そしたら叫び声とか聞こえてきて、なんか外が騒がしくて  
見てみたら



向かい側の家が燃えていた。  
火はものすごい勢いで広がり、住民たちの必死のパケツリレーが続く。  
私達の部屋もどんどん気温があがっていった。  
最悪の事態に備えて  
深夜に二人で荷物をまとめた。  
結局そのパケツリレーの甲斐あって、無事鎮火。  
しばらく経ってから消防車が来た。

それからコルカタ→パネーシュワルときて  
今はデリーです。

街のATMに行こうとしたら  
大量に絡まりまくった電線がショートして頭上で爆破した。  
鼓膜が破れそうになった。  
火の粉を浴びて耳を塞いでしゃがみこむ私を見て  
インド人はノープロブレムだと笑った。

この一週間は.....色々ありました。  
熱も出したし、吐いたし、泣いたし。  
とりあえず、



ホントよかったよ。  
インドももう、あとちょっと。

カテゴリ:

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(5\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

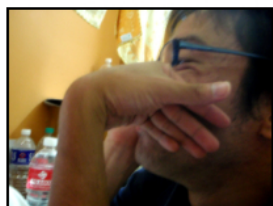
[一生で一度のワーブ](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.13

明日、コルカタに発ちます。

[Tweet](#)

[Check](#)



さきのと2人でトイレトペーパーと水を買に出たら  
背後から"Excuse me"って言われて  
振り向いたらおっくんがアイス食べながら立ってた。  
異国の地で、みんな普通に生活出来るようになったもんです。



最終日の今日はサイさんとメナカとさきのと4人で夜のビーチへ



砂浜で出会った家族。



今日も夕食をごちそうになり...  
そしてお別れ。ホントに泣きそうだった。  
詳細はさきのブログ"チェンナイで出会った瞳を輝かしているカノジョ"で。



そしてなぜかやたら仲良くなったこの2人。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.13 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワーフ > 2008年06月 アーカイブ](#)

08.06.11

See you again.

[Tweet](#)

[Check](#)

撮影を許可していただいた会社のトップの方に挨拶をして、  
その社員一人一人に挨拶をして、何度か大人数で食事会をして。  
毎国、ほぼこの流れで撮影をしてきました。  
その度に何度も胃がギュってなるくらい緊張して  
口に合わない料理も笑顔で食べて

でも何でかストレスには感じませんでした。  
多くの人に助けられて成立してるこの取材の数々は  
本当にこっち側が感謝するばかりで  
私の企画に携わって下さったたくさんの人、  
誰か一人でも欠けたら私は写真が撮れないわけで。  
朝から晩まで、もちろん寝れるけど  
こうして今日も撮影に出かけられることが嬉しいです。



来てくれたし！会えたし！



「Most Welcome Suzuki!!」で始まって、「I don't wanna for get you」で終わって、「今度またインドに来ることがあったら必ず会いに来て。私が日本に行く時は絶対に会いに行く。」



一生忘れたくないチェンナイでの日々。

カテゴリ:

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワーブ](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.08

## 第7ヶ国目ーインドー

[Tweet](#)

[Check](#)

この国ではIT企業に勤める女性を取材する予定でいます。遊ること、FWの登竜門・1年生後半の課題「face to face」。日本国内に住む外国人の密着取材をするというもの。当時、どうしてもアテがなかった私は英語表記の家を片っ端から訪ね、外国人を見かけては声をかけ、その時やっと取材に応じてくれたのがIT企業に勤めるインド人の男性（28）でした。彼との関係は「課題」で終わる事なくその後も続きました。そのおかげで今回の取材が可能になったわけです。



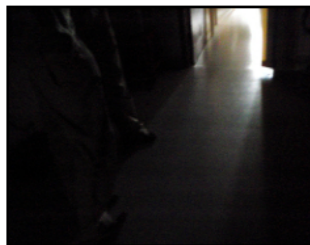
彼の同僚のサイクリシュナンさん。インド側のやり取りは彼が中心となって動いてくれました。人柄が顔ににじみ出ています。ものすごくいい方です。サイさんはIT企業に勤める傍ら、写真の専門学校にも通っていて2007年に日本で開催されたアビリンピック（世界各国で開催される障害者技能競技大会）写真部門のシルバメダリストでもあります。つまり、カメラマンという顔も持っている素晴らしい方なんです。



彼が通う写真学校にお邪魔させていただきました。







で、このモデルさんが今回の取材相手、メナカさん（22）です。  
笑顔がすごく可愛くて  
事前のメール以上に気さくで  
何よりも今までで最も歳が近い取材相手のせいか  
やりやすい！！  
と、テンションがあがったのも束の間...

何度も確認した今朝の待ち合わせに彼女は現れませんでした。  
何時間待っても来ませんでした。

まあ、もうこれは毎国恒例行事なので（笑）  
気長にいきます\*

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.04

～2008年6月4日～

[Tweet](#)

[Check](#)

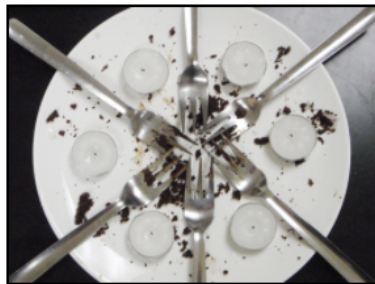
本日をもちまして、21歳になりました。  
移動日前日でパッキングやらなんやらでバタバタしていた今日。  
夕方、部屋にいた私は急にリビングに来るように呼ばれ行ってみると  
電気が消えて真ん中にケーキが...！！  
「ハッピーバースデートゥーユー！ハッピーバースデートゥーユー！！」  
みんなが私を囲んで歌ってくれました。  
プレゼントはピアスとネックレス。既にタイで用意していたみたいです。





正直、ちょっと泣きそうでした。  
今はそれどころじゃないのに、今年も忘れずに祝ってくれて...本当に嬉しかったです。  
FWに入って3回目の誕生日。  
思い返せばどの誕生日も特殊でした。  
1年生 ~19歳の誕生日~  
初めての国内研修「日光」の最終日でした。  
いきなり14人が女子部屋に集合して、メッセージボードをプレゼントしてくれて。  
その頃はまだ出会う間もなく若干ぎこちなかったのを覚えています。  
女子9人、男子6人の15人。メンバーは今の倍でした。  
2年生 ~20歳の誕生日~  
栃木県西那須野にあるアジア学院というところのおよそ1週間の国内合宿。  
そこでは農作のいるはを学びにきている世界各国の人たちと共に一緒に農作業をしながら取材と撮影を行うというもので、私はこの合宿の初日に20歳の誕生日を迎えました。  
サキノの取材相手だったアフリカ人女性の粋なはからいにより、その学生さんたち全員で私にパースデーソングを歌ってくれました。まさかこんな経験が出来ると思ってなくてすごく感動したのを覚えています。  
3年生 ~21歳の誕生日~  
それが、今日でした。FWコースの大目玉であるアジア10ヶ国を回るこの研修中に私は21歳になったわけです。ここマレーシアで。

入学してから今日まで、  
時には学校を辞めることや  
転科することも本気で考えながら  
突っ走ってきました。  
でも辞めなかったのは  
この旅が自分にとって必ずプラスになると  
確信していたのと、  
この7人(兄ちゃん・パピ・みな・  
あやこ・おっくん・さきの・ちなつ)  
がいたからです。  
私が持ってなかった、  
あるいは欠けていた  
たくさんのことを  
このみんなと  
FWに携わっている多くの先生が  
教えてくれました。  
この学校に入って、FWに入って本当に良かった。



みんなありがとう。  
もうすぐ折り返し地点！引き続き、がんばろお！！

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワーブ](#) > 2008年06月 アーカイブ

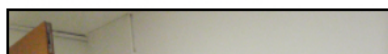
## \* 囲む会 \*

[Tweet](#)

[Check](#)



\*ウォンさんを囲む会\*  
なべを二つ用意して今夜は「すき焼き」。





ウォンさん、本当にありがとうございました！！  
8月のスクーリングもよろしく願い致します。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.02

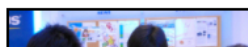
## 写真展 -シンガポールの4泊5日間-

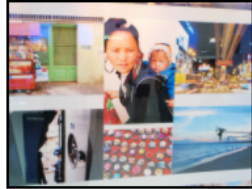
[Tweet](#)

[Check](#)



シンガポールにて写真展を開催しました。  
写真は全て、協賛していただいているオリンパス様のμ850で撮ってきたものです。  
軽くて、持ち運びに便利な上に可愛らしいデザインのコンパクトカメラなので  
旅の思い出として撮るのはもちろん、色々な撮り方を試したり、旅先で出会った多くの方々と  
コミュニケーションツールとして使ったり、純粋に写真を撮る息抜きになったり。  
みんなが撮ってきた写真を見て、改めてコンパクトカメラの良さを再認識しました。

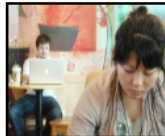




たった2日間の写真展でしたが、必死の呼び込みの甲斐あって多くの方にご来場いただきました。  
 本気で入学を希望している人、  
 私たちが回るコースの地図をじっくり見ている人、  
 時間がないのにわざわざ見ていってくれた人、  
 一期生のDVDを真剣に見入る人。  
 用意していた学校のパンフレットは初日でなくなりました。  
 たくさんの方々に興味を持っていただけで発信することの大きさも身をもって感じる事ができました。  
 最後は全員で夕食。



写真展開催にあたり場所を提供してくださったシンガポールオリンパスの皆様、準備期間から開催まで長い間サポートを下さったローさん、ショーンさん、そしてわざわざ日本から足を運んで下さった松崎さん、スクーリング期間から写真展まで常にサポートを下さったウォンさん、愛さん、本当にありがとうございました。  
 多くの方々の支えによってこのFWが成り立っていることを  
 今一度、肝に銘じて残りの3ヶ月半を頑張っていきたいと思います。  
 今日(6/1)夜10時にマレーシアに戻ってきました。



そして最後になりましたが、  
 お忙しい中日本でのサポートをしてくださった五十嵐先生、本当にありがとうございました。

カテゴリ:

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.06.02 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)